

News 210531 電池駆動で計測と映像の統合観測



電池駆動Web観測システム



省電力動作屋外用IPカメラ



省電力動作Linux GW



単1電池8本ユニット

日陰でも何処でも置ける観測システムを目指して

自社でこれまで培ってきた電池駆動のWeb観測システムをベースに現地映像を統合するために必要な左写真のハードウェアが揃い開発に着手しており、近々完成の予定です。

要求仕様

- ・単1電池8本で以下の動作を行う。
- ・通常10分毎計測・1日1回撮影し計測データをまとめて公開サーバ送信しWeb公開
上記通常動作で電池だけで1年連続動作
- ・センサーが閾値を超えてアラーム状態となった場合、10分毎の計測・撮影・公開サーバ送信しWeb公開する詳細観測を電池切れまで続ける。内臓電池だけで詳細観測は3～7日継続可能、アラームが解除されれば通常観測に自動復帰
- ・夜間はカメラ内臓IRを点灯し20mを照らす。
- ・公開Webサーバでそれまで計測・撮影した映像はWebで何処からでも参照できる。
- ・電池電圧をモニタし電池切れを予測できる。
- ・単管1本に簡単に取り付けられる。

利用のメリット

- ・乾電池なので設置場所を選ばない。
- ・アラーム時は詳細な情報をタイムリーに得られる。
- ・機材が少なくコストパフォーマンスがよい。
- ・急な観測にも少人数で短時間の作業で設置できる。

利用先例：河川の増水監視

安全水位の間は通常観測で水位が警戒水位を超えた場合、詳細観測で映像と水位を10分毎にモニタ。

一言

百聞は一見にしかず。計測に映像で現状が正確に分かります。